

平成30年3月8日

森と木のいえ MIRAI シンポジウム

(平成29年度「緑と水の森林ファンド」中央事業)

一般社団法人 木のいえ一番振興協会

理事 中山 義 治

住 所 〒150-0045

東京都渋谷区神泉町 22-2

電話番号 03-5790-6360

F A X 番号 03-5790-6361

皆様におかれましては、平素よりご高配にあずかり、心より感謝申し上げます。

さて、当協会は国土緑化推進機構のご支援のもと、関係団体の皆様のご協力を頂き、森と木のいえ MIRAI シンポジウム実行委員会（実行委員会）事務局として、下記のとおり、シンポジウムの開催を準備しております。ご多用の時期とは存じますが、是非ともご参集いただきたくご案内申し上げます。どうぞ、よろしく願いいたします。

記

- 1 事業名 森と木のいえ MIRAI シンポジウム
～森林資源の循環利用が日本の森林を救う～

2 事業の目的及び概要

もともと日本には、暮らしの中で木材を様々な使用する「木の文化」がありますが、最近の住宅は和室の減少や大壁構法が主流になっています。このため、山側はこれまでの木材の販路を失い、森林整備の意欲低下が生じています。一方で木材を内外装にしっかり使用した家や木の家具を求める潜在需要も根強く存在しています。

こうした状況を踏まえ、今回のシンポジウムでは森づくりに焦点をあてながら、木に関わる関係者が抱える課題について、森林から木材、住宅利用までを連動させながら考えることとします。木材の利用促進を円滑にするため、昨今の建築基準法改正等の動きがありますが、これらも視野に置いて討論します。

3 事業の内容

(1) 基調講演と討論

(基調講演)

- ①「これからの森づくりと木材利用」(山田壽夫社長)
- ②「住まいの文化と木の建築」(中村利則教授)
- ③「省エネとこれからの木造建築」(鈴木大隆所長)

(討論)

基調講演後、講演者のほかに次の2名のパネラーに参加いただき討論して頂きます。

- ①進行：三浦祐成理事（当協会理事）

②押本雅壽氏（丸宇木材市売社社長）

③迫英徳氏（株式会社シンケン社長）

（2）募集対象者 木材流通加工業、建築・設計関係者等 120名

（3）会場 風來講堂（東京都渋谷区神泉、風來ビル）

（4）平成30年4月26日（木） 風來講堂（東京・渋谷、風來ビル）

4 実施体制

① 主催 森と木のいえ MIRAI シンポジウム実行委員会

メンバー：国土緑化推進機構、木のいえ一番振興協会、国産材を使った木造住宅を守る会、東京木材市場協会、建築フォーラム、NPO法人 JUON・NETWORK

② 事務局：木のいえ一番振興協会

5 後援：林野庁、新建新聞社、日刊木材新聞社

（プログラム案）

*講師のプロフィール等は別紙のとおり

13:30 ~ 13:35	オリエンテーション 木のいえ一番振興協会事務局	
13:35 ~ 13:45	開会の挨拶 国土緑化推進機構	
13:45 ~ 13:55	来賓挨拶 林野庁	
13:55 ~ 14:35	基調講演①「 これからの森づくりと木材利用 」 プレゼンター 山田壽夫氏 (先進林業地の概況報告 荒井秀夫氏)	
14:35 ~ 15:10	基調講演②「 住まいの文化と木の建築 」 プレゼンター 中村利則教授	
15:10 ~ 15:45	基調講演③「 省エネとこれからの木造建築 」 プレゼンター 鈴木大隆	
15:45 ~ 15:55	休憩	
15:55 ~ 17:20	討 論（司会は三浦理事）	山田壽夫氏、中村利則氏、鈴木大隆氏、押本雅壽氏、迫英徳氏の5氏で討論、
17:20 ~ 17:25	閉会の挨拶 木のいえ一番振興協会理事	

（申し込み）氏名、所属、電話番号を書いて03-5790-6361へFAXください。
電子メール：氏名、所属、電話番号を書いて info@kinoie-1ban.or.jp へメールください。